FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix A203/FinePix A303

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス A203/A303の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。 http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

BL00147-101(1)

目　次

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカード（xDピクチャーカード）の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

- Macintosh、iMac、MacOSは米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- xDピクチャーカードおよびその他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

＊表紙の写真はFinePix A303です。

カメラの特長/付属品

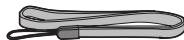
カメラの特長

●有効画素数200万画素CCDと高解像度フジノン3倍ズームレンズによる高画質(FinePix A203)
有効画素数324万画素CCDと高解像度フジノン3倍ズームレンズによる高画質(FinePix A303)
●記録画素数最大1600×1200(192万)ピクセル(FinePix A203)
記録画素数最大2048×1536(315万)ピクセル(FinePix A303)
●コンパクト軽量ボディ
●広範囲な撮影領域(マクロ撮影機能付き)
●シーン自動認識オートホワイトバランス&AE搭載
●高精度でワイドレンジな調光が可能なオートストロボ内蔵
●最大デジタル2.5倍ズーム撮影機能/最大10倍ズーム再生機能(FinePix A203)
最大デジタル3.2倍ズーム撮影機能/最大13倍ズーム再生機能(FinePix A303)
●電動レンズバリア採用
●動画撮影可能(320×240ピクセル、160×120ピクセル、音声なし)
●USB接続により簡単に画像ファイル転送が可能(付属のインターフェースセット使用)
●PCカメラ機能搭載
●デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠
＊DCFは電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

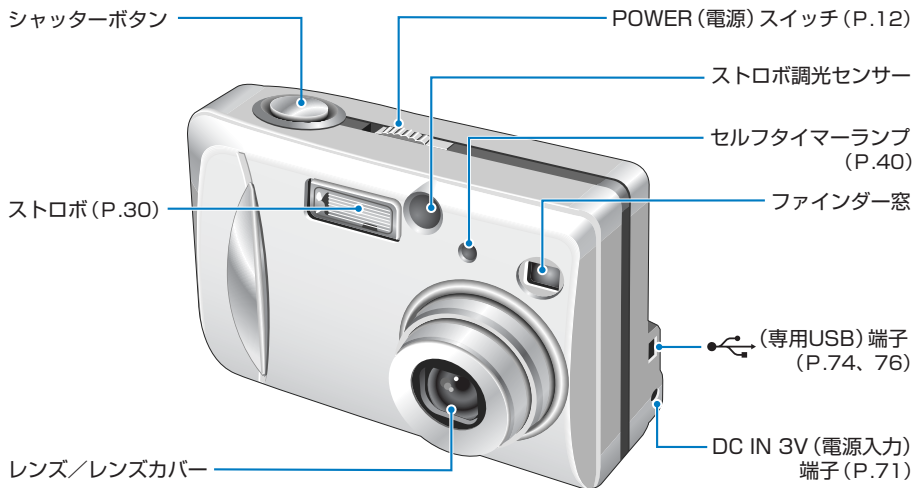
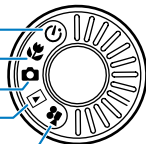
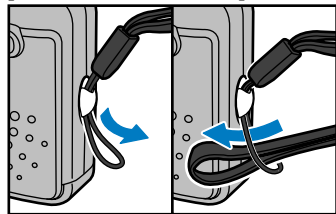
付属品

●xDピクチャーカード 16MB
付属品:静電気防止ケース(1個)

●単3形アルカリ乾電池 LR6(2本)

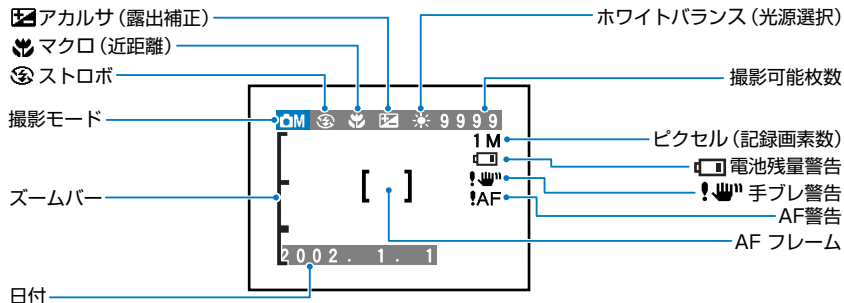
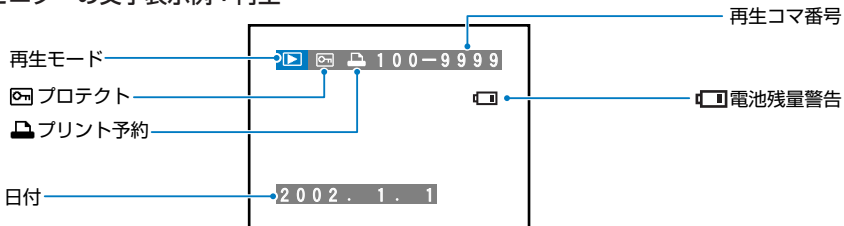
●ストラップ(1本)

●USBインターフェースセット(1式)
・CD-ROM:Software for FinePix SX(1枚)
・専用USBケーブル(1本)
・ソフトウェア取扱ガイド(1部)
●使用説明書(本書1部)
●安全上のご注意(1部)
●保証書(1部)

各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

MENU（メニュー）／OKボタン（P.17）
BACK（戻る）ボタン（P.17）
ファインダー
ファインダーランプ
DISP（表示）ボタン
（P.15、16）
液晶モニター
ストロボボタン
三脚用ねじ穴
電池カバー
xDピクチャーカードスロット
電池挿入部
【モードダイヤル】
セルフタイマーモード（P.39）
マクロ（近距離）モード（P.38）
静止画撮影モード（P.18）
再生モード（P.33）
動画撮影モード（P.41）
◀▶ボタン（P.16、17）
▲（望遠ズーム）▼（広角ズーム）
レバー（P.15、16、17、20、29）
ストラップ取り付け部（P.7）
【ストラップの取り付け】

各部の名称（表示例）

液晶モニターの文字表示例：撮影

液晶モニターの文字表示例：再生

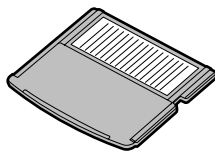
電池とxDピクチャーカードを入れる

使用する電池

単3形アルカリ乾電池（2本）、または単3形ニッケル水素電池（2本）

◆電池について◆

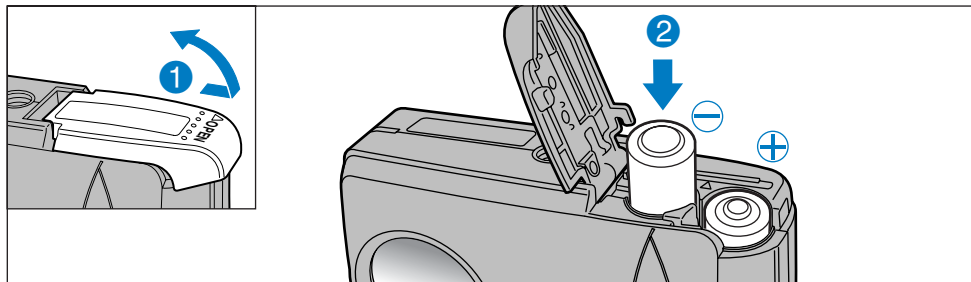
- 付属のアルカリ乾電池と同銘柄の使用をおすすめします。
- 外装チューブが破れたりはがれている電池は絶対に使用しないでください。ショートにより電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因となります。
- リチウム電池やマンガン乾電池、ニカド電池は使用しないでください。
- 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、寒冷地（＋10℃以下）では使用時間が短くなります。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、電池作動可能時間が極端に短くなることがあります。
- ニッケル水素電池の充電には、別売の充電器（➡81ページ）が必要です。
- 電池についてのご注意は84ページをご参照ください。

使用するxDピクチャーカード（別売）

- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）

表側　　裏側

❗本カメラでの動作保証は弊社製xDピクチャーカードのみとなります。

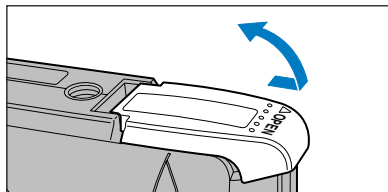
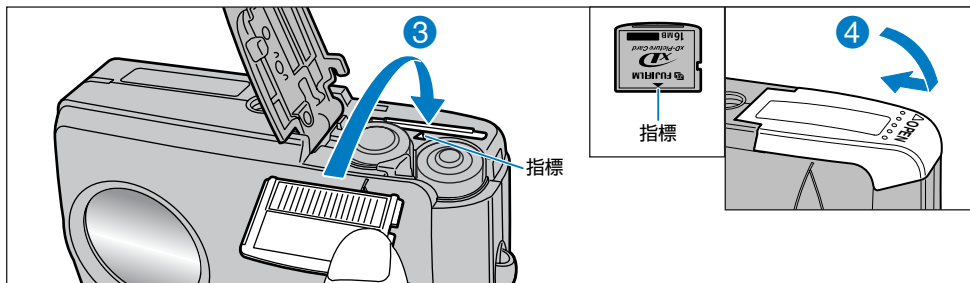
❗xDピクチャーカードについてのご注意は87、88ページをご参照ください。

電池とxDピクチャーカードを入れる

❶電池カバーをスライドさせて開けます。
❷電池を表示に従って正しく入れます。

❗電池カバーに無理な力を加えないでください。

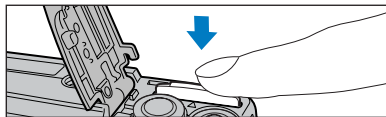
電池カバーは、電源を入れたまま開けないでください。xDピクチャーカード、または画像ファイルなどが破壊されることがあります。

◆電池を交換したいときは◆

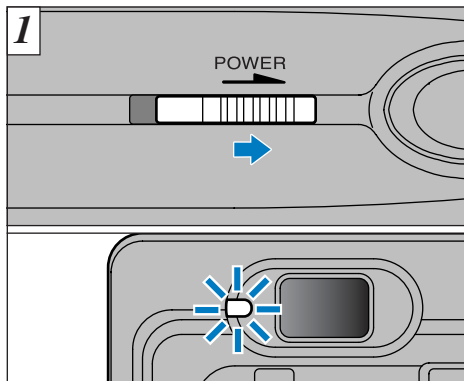
電源が切れていることを確認し、電池カバーを開け、電池を取り出してください。

❗電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないように注意してください。

❸指標どうしが向き合うようにして、xDピクチャーカードスロットにxDピクチャーカードを確実に奥まで差し込みます。
❹電池カバーを閉めます。

❗電源が入った状態で電池カバーを開けると、xDピクチャーカードの情報保護のため、電源が切れます。
❗xDピクチャーカードの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。
❗xDピクチャーカードを保管するときは、必ず専用のケースに入れてください。

◆xDピクチャーカードを交換したいときは◆

xDピクチャーカードを押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れてxDピクチャーカードが押し出されます。
押し出されたあと、xDピクチャーカードを引き出すことができます。

❗ロックが外れた直後にxDピクチャーカードから急に指を離すと、xDピクチャーカードが飛び出す場合がありますので注意してください。

1

電源のON/OFF

電源を入/切するには“POWER”スイッチをスライドします。電源を入れるとファインダーランプ[緑]が点灯します。

“📷”モードのときはレンズカバーが開き、レンズ部が動きます。精密部品のため、手で押さえないでください。“レンズカバーが開いていません”表示や故障の原因になります。また、レンズに指紋がつかないようにご注意ください。撮影画の画質低下の原因になります。

初めて電源を入れると、日付がクリアされています。“MENU/OK”ボタンを押して日時を設定します。

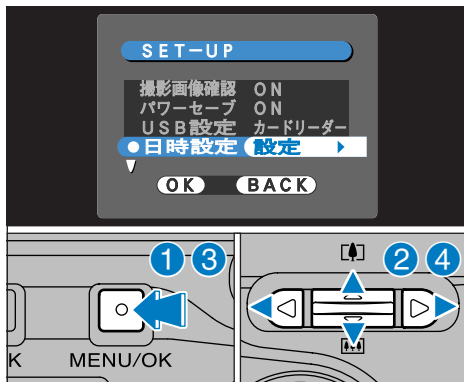
❗あとで設定するときは“BACK”ボタンを押します。
❗日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

❶"◀"か"▶"で年・月・日・時・分を選びます。
❷"▲"か"▼"で設定します。

❗"▲"または"▼"を押し続けると数字が連続して変わります。
❗時刻表示で"12:00"を越えると、自動的にAM(午前)/PM(午後)が切り換わります。

日時を設定したら、"MENU/OK"ボタンを押します。
実行すると撮影または再生モードになります。

❗時刻をより正確に合わせたいときは時報のゼロ秒時に"MENU/OK"ボタンを押すことをおすすめします。
❗ご購入時および長時間電池を抜いて放置した後は、日時設定などの各種設定がクリアされてしまいます。電池を入れた状態で約20分以上経過していないと、xDピクチャーカードや電池を交換する際に、各種設定が保持されない可能性があります。

日時を修正するには

❶ "MENU/OK" ボタンを押します。
❷ "◀" か "▶" で "SET各種設定" を選び、"▲" か "▼" で "SET−UP" を選びます。
❸ "MENU/OK" ボタンを押します。
❹ "日時設定" を選び、"▶" を押します。

日時の設定方法は12、13ページをご参照ください。

◆電池残容量の確認◆

電源を入れ、液晶モニターに電池残容量表示（▯・▯）がされていないことを確認します。何も表示されていないときは、電池の残容量は十分です。

● "▯" 赤点灯：電池の容量が少なくなっています。新しい電池を準備してください。
● "▯" 赤点滅：電池の残容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

! 上記は撮影モードでの目安です。再生モードでは "▯" から "▯" になるまでの時間が短くなることがあります。

◆パワーセーブ機能◆

2分間操作しないと電源が自動的に切れます。機能有効時は、約30秒間操作をしないと液晶モニターを消し、消費電力を抑えます（詳しくは➡70ページ）。

基本操作ガイド（撮影）

● 液晶モニターの表示切り換え

以下の3種類の状態を切り換えます。

液晶モニターON
通常はONにします。

液晶モニターOFF
消費電力を抑えたいときにOFFにします。

フレーミングガイド
構図の目安が欲しいときに表示します。

● 電源のON/OFF

電源を入れるとき、切るときにスライドします。

● ピント合わせ、撮影

半押し：ピント合わせします。
全押し：シャッターを切ります。

● ズーム

▲（ ）：
望遠ズームします。
▼（ ）：
広角ズームします。

● 撮影モードの切り換え

以下の4種類の撮影モードを切り換えます。

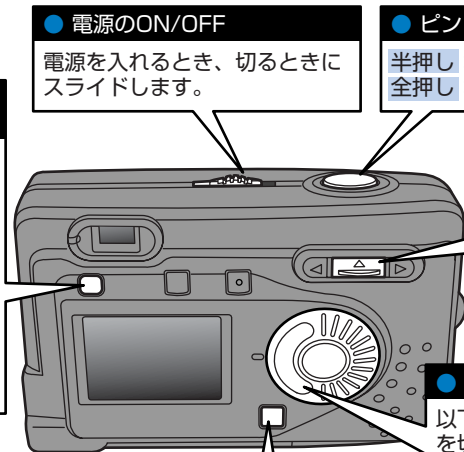
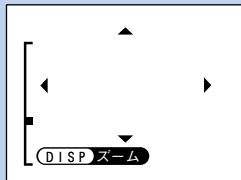
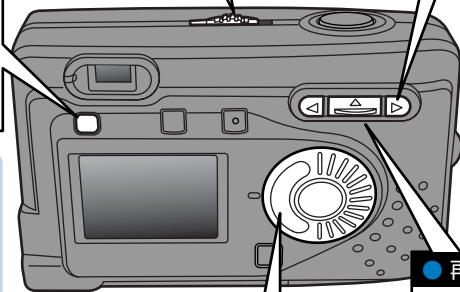
：静止画
：マクロ（近距離）
：セルフタイマー
：動画

※“ ”に合わせると、再生モードになります。

● ストロボモードの切り換え

以下の5種類のストロボモードを切り換えます。

AUTO・・・・S

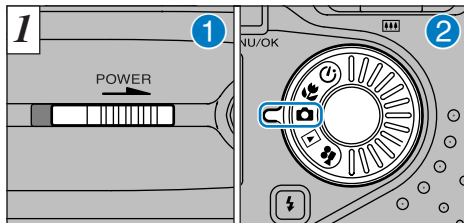
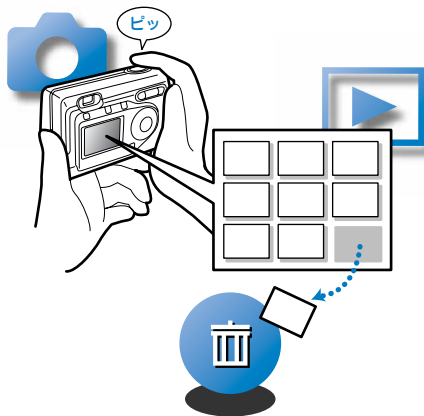
＊撮影画像確認をOFFにすると、さらに消費電力を抑えることができます。

液晶モニターの表示切り換え
以下の3種類の状態を切り換えます。
文字表示あり：
通常はこの状態になります。
文字表示なし：
文字が全く表示されません。
マルチ再生：
9コマの画像が表示されます。
電源のON/OFF
電源を入れるとき、切るときにスライドします。
再生するコマを選ぶ
▶：次のコマを表示します。
◀：前のコマを表示します。
◆ガイダンス表示◆
DISP
ズーム
画面の下方に、次のステップに進むためのガイダンスが表示されますので、対応するボタンを押してください。
再生モードに切り換える
モードダイヤルを“▶”に合わせます。
再生ズーム
▲（）：
表示倍率を上げます。
▼（）：
表示倍率を下げます。

基本操作ガイド（メニュー）

使用説明書では、上、下、左、右を三角マークで表します。
上・下のときは“▲▼”となり、左・右のときは“◀▶”となります。

2

静止画撮影 撮影してみましょう（A オート撮影）

準備編をお読みいただき、撮影の準備が終わっていることと思います。
基本編では、「撮る」➡「見る」➡「消す」という基本操作を説明していきます。
実際に操作しながら、基本操作をマスターしましょう。

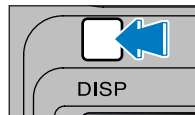
1

❶“POWER”スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❷モードダイヤルを“📷”に合わせます。

●撮影可能距離：約60cm～無限遠

! 約60cmより近づいた場合にはマクロを設定してください（➡38ページ）。

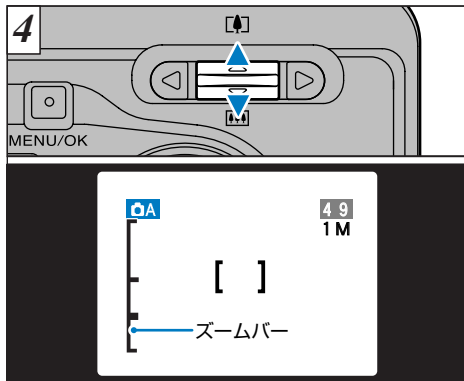
◆撮影可能時間を長くするには◆

●“DISP”ボタンを押して液晶モニターをOFFにし、ファインダー撮影します(マクロ撮影時は、液晶モニターをOFFにできません)。

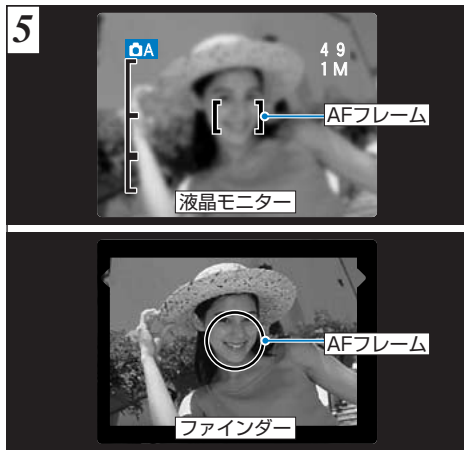
●SET－UPの“撮影画像確認”（➡69ページ）を“OFF”にします。
●SET－UPの“パワーセーブ”（➡69、70ページ）を“ON”にします。

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作がしやすい位置に置きます。

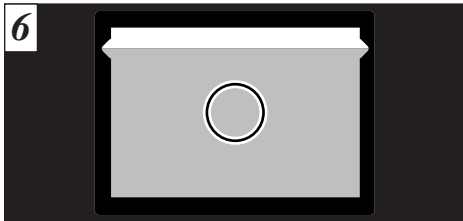
レンズやストロボ、ストロボ調光センサーに、指やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、適正な撮影ができないことがあります。

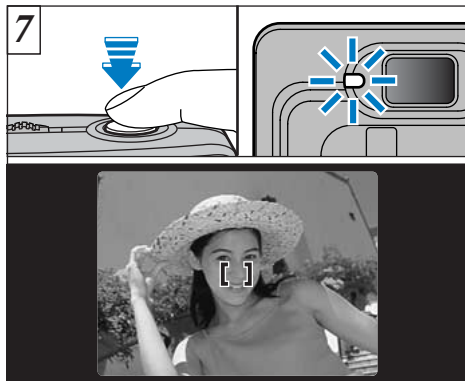
- “カードエラー” “記録できませんでした” “再生できません” “フォーマットされていません” が表示された場合は、89、90ページをご参照ください。
- 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボの反射で画像に白点が写ることがあります。
- レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は83ページを参照してレンズをきれいにしてください。

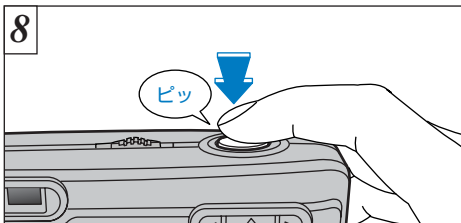
撮影してみましょう（Aオート撮影）

被写体を大きく写したいときは、“▲”（望遠）を押します。広い範囲を写したいときは、“▼”（広角）を押します。このとき液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。

●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
　約38mm～114mm相当
　最大ズーム倍率 3倍

光学ズームとデジタルズーム（➡29ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。

液晶モニターまたはファインダーを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡26ページ）。

ファインダー撮影では、被写体までの距離が約0.8m～1.5mの場合、図の□の部分が撮影されます。

- 撮影範囲を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
- 明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合は、ファインダーの使用をおすすめします。
- 撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（➡P.33）。

シャッターボタンを半押しします。液晶モニターのAFフレームが小さくなり、ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯に変われば、ピント合わせは完了です。

- 画面に“**!AF**”が表示されたときは、ピントが合っていません。
- シャッターボタンを半押しすると、一時的に画面の映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
- “**!AF**”が表示された場合（暗くてピントが合わないなど）、被写体から2m程度離れて撮影してください。

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、“ピッ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
- 撮影するとファインダーランプが橙色に点灯し（撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。液晶モニターがONの場合は一瞬黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
- 警告表示については89～91ページをご参照ください。

◆シャッター半押し時の警告表示について◆

!AF ピントが合っていません。

対処方法
- 被写体から2m程度離れて撮影してください。
- AF/AEロック撮影を行ってください（➡26ページ）。

! シャッター速度が遅いため、手ブレが発生しやすくなっています。

対処方法
- ストロボを使用してください。
- 三脚を使用してください。

!AE 撮影できますが、適正露出ではありません。

■ファインダーランプ表示について

表　　示	状　　態
緑点灯	準備完了（撮影可能）
緑点滅	AF・AE動作中、手ブレ警告、AF警告（撮影可能）
緑・橙の交互点滅	xDピクチャーカードに記録中（撮影可能）
橙点灯	xDピクチャーカードに記録中（撮影不可）
橙点滅	ストロボ充電中（ストロボ発光しません）
赤点滅	● xDピクチャーカードについての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、xDピクチャーカード異常 ● レンズ動作異常

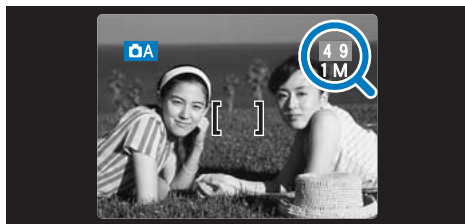
◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡・車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 高速で移動する被写体
- AFフレーム付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

このような場合にはAF/AEロック（➡26ページ）をお使いください。

撮影してみましょう（Aオート撮影）

撮影可能枚数について

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

- ピクセル（記録画素数）の変更は、48ページをご参照ください。
- 工場出荷時設定は、“1M”です。

xDピクチャーカード標準撮影枚数

xDピクチャーカードをカメラでフォーマットした状態の撮影可能枚数です。

- 被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。
- 撮影枚数はxDピクチャーカードの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

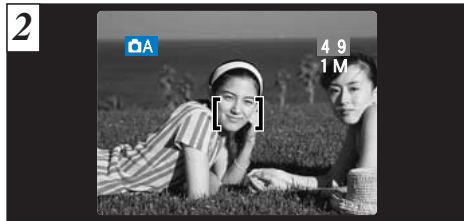
■FinePix A203

ピクセル（画質）	2M・F	2M・N	1M	0.3M
記録画素数	1600×1200（約192万）		1280×960（約123万）	640×480（約31万）
画像1枚のファイルサイズ	約620KB	約390KB	約320KB	約130KB
DPC-16（16MB）	25	39	49	122
DPC-32（32MB）	50	79	99	247
DPC-64（64MB）	101	159	198	497
DPC-128（128MB）	204	319	398	997

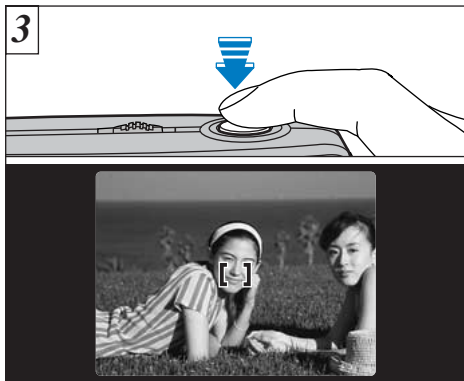
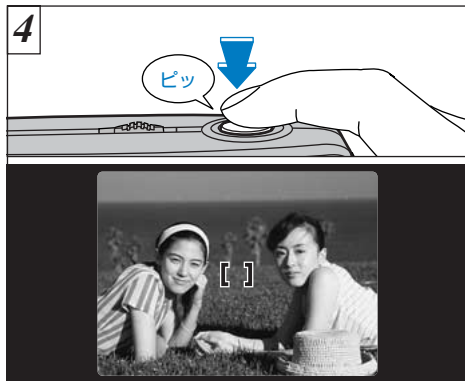
■FinePix A303

ピクセル（画質）	3M・F	3M・N	2M	1M	0.3M
記録画素数	2048×1536（約315万）		1600×1200（約192万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）
画像1枚のファイルサイズ	約1300KB	約590KB	約390KB	約320KB	約130KB
DPC-16（16MB）	12	26	39	49	122
DPC-32（32MB）	25	53	79	99	247
DPC-64（64MB）	50	107	159	198	497
DPC-128（128MB）	102	215	319	398	997

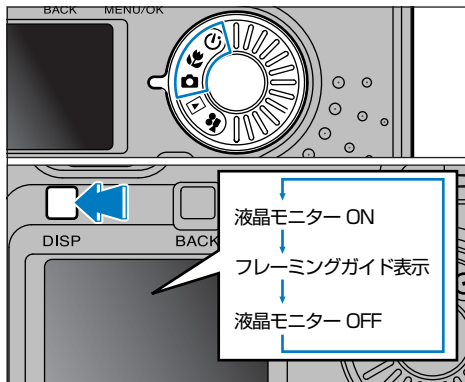
AF/AEロック撮影

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

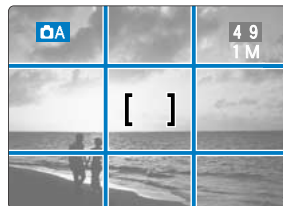
このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。液晶モニターの端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

そのままシャッターボタンを半押し（AF/AEロック）し、画面のAFフレームが小さくなり、ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯されるのを確認します。

シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

ベストフレーミング機能

撮影モード“📷・🌷・⏲”で設定できます。
“DISP”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押して“フレーミングガイド”を表示します。

❗フレーミングガイドは画像に記録されません。
❗縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

◆重要◆

必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

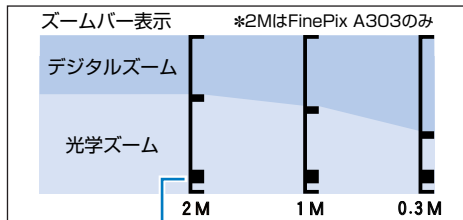
ズーム撮影

被写体を大きく写したいときは“▲”（[望遠アイコン]望遠）を押します。
広い範囲を写したいときは“▼”（[広角アイコン]広角）を押します。
液晶モニターを使用した撮影では、光学ズームした後、さらにデジタルズームを使用できます。

■FinePix A203

	デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）	最大ズーム倍率
2M	使用不可	
1M	約114mm～約143mm相当	1.25倍
0.3M	約114mm～約285mm相当	2.5倍

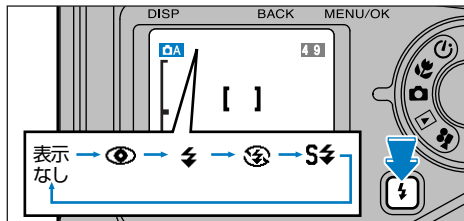
■FinePix A303

	デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）	最大ズーム倍率
3M	使用不可	
2M	約114mm～約146mm相当	1.28倍
1M	約114mm～約182mm相当	1.6倍
0.3M	約114mm～約365mm相当	3.2倍

ズームバーの“■”の位置でズームの状態が分かります。

- 区切りより上の場合はデジタルズーム、区切りより下の場合は光学ズームです。
- “▲”か“▼”を押すと“■”が動きます。
- デジタルズームと光学ズームを切り換える際に、いったん“■”が停止します。もう一度同じ方向に押すと、“■”が動いて切り換わります。

ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

光学ズームは約38mm～約114mm相当（35mmカメラ換算）です。

ピクセル（画像サイズ）設定の変更（➡48ページ）。

⚡ ストロボ

"⚡" ボタンを押してストロボの設定を選びます。撮影の目的に合わせてストロボを使用します。

- "オートストロボ（表示なし）・◉・⚡・⚡・S⚡" の5種
- ストロボ撮影可能距離（Aオート時）：
  広角側：約0.3m〜約3.5m
  望遠側：約0.6m〜約3m

! 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボの反射で画像に白点が写ることがあります。

! 電池の残容量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。

! ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色の点滅をします。

オートストロボ（表示なし）

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

ストロボ発光禁止

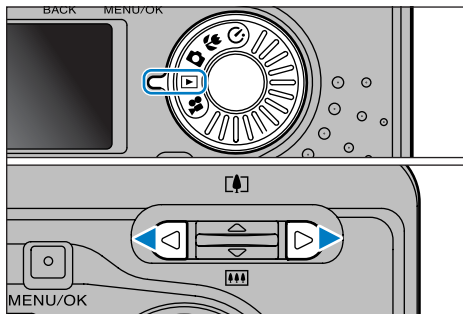
室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、オートホワイトバランス(➡95ページ)が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

- 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 手ブレ警告については22、90ページをご参照ください。

スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

- 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。
- スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

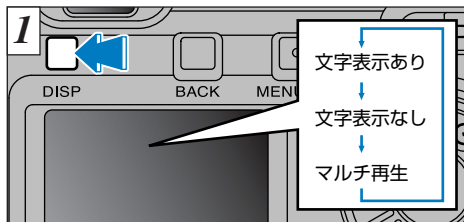
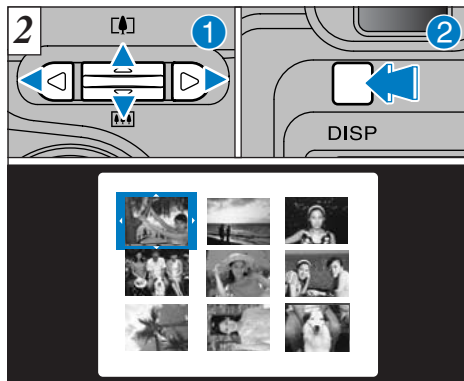
▶ 再生モード 画像を見るには（1コマ再生）

モードダイヤルを“▶”に合わせます。“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

画像の早送り

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると再生コマ番号が増減し、画像を早送りできます。表示されている画像は変わりませんが、xDピクチャーカード内のおおよその再生位置が目安となるバーで表示されます。

❗モードダイヤルを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。

2

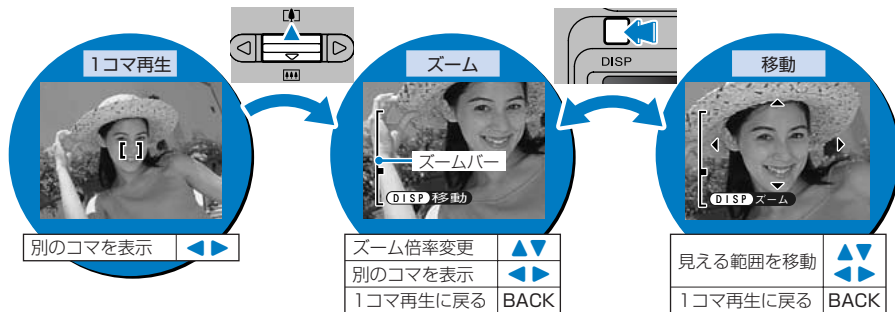
▶ 再生モード マルチ再生

再生モードでは“DISP”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押してマルチ再生（9コマ）にします。

❶“▲▼◀▶”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。

❷もう一度“DISP”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

❗液晶モニターの文字表示は約3秒後に消えます。

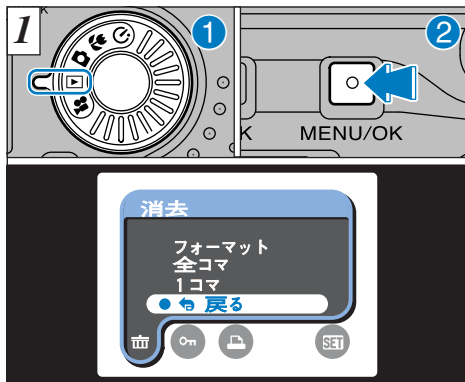
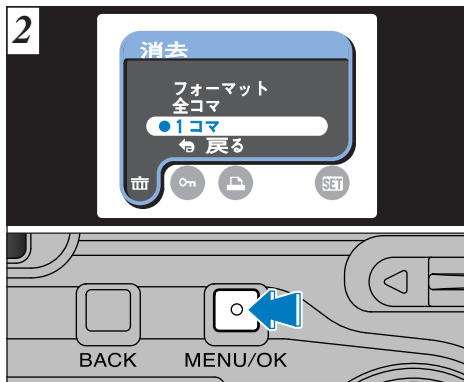
❗再生ズーム中はマルチ再生はできません。

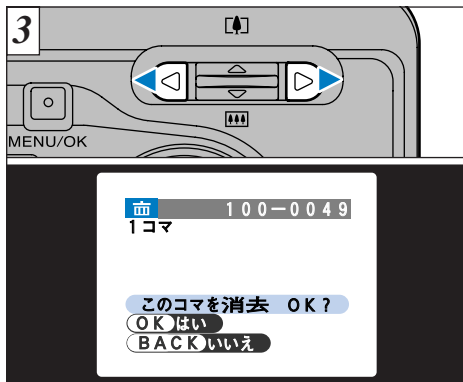
▶ 再生モード 再生ズーム

撮影後のピント確認などに便利な機能です。
1コマ再生中に "▲" を押すと、ズーム画面に切り換わります。

■最大ズーム倍率

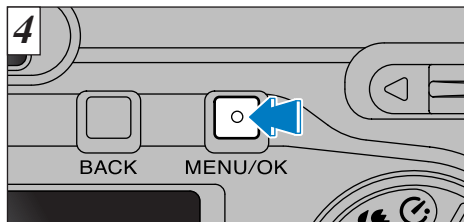
機種＼ピクセル	3M（2048×1536）	2M（1600×1200）	1M（1280×960）	0.3M（640×480）
FinePix A203	—	10倍	8倍	4倍
FinePix A303	13倍			

❗他機種で撮影された画像は、再生できないことがあります。
❗マルチ再生中は再生ズームできません。

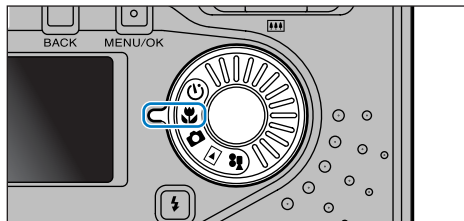
▶ 再生モード 画像を消すには（1コマ消去）

❶モードダイヤルを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すとメニューが表示されます。

“🗑消去”の“1コマ”を選んだ状態で“MENU/OK”ボタンを押します。
全コマ、フォーマットについて詳しくは55ページをご参照ください。

！“戻る”を選んで“MENU/OK”ボタンを押すと、消去せずに再生に戻ります。

“◀” か “▶” を押して消去したいコマ（ひとつのファイル）を表示します。

❗ 1コマ消去をやめたい場合は、“BACK” ボタンを押してください。

誤って画像を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

“MENU/OK” ボタンを押すと、表示中のコマ（ひとつのファイル）が消去されます。消去が終わると次のコマが再生され、“このコマを消去 OK？” が表示されます。

消去を続けるには、3、4の操作を繰り返します。

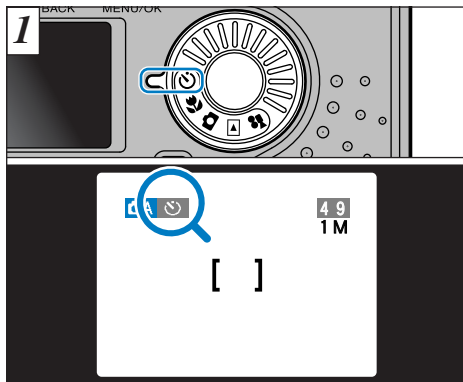
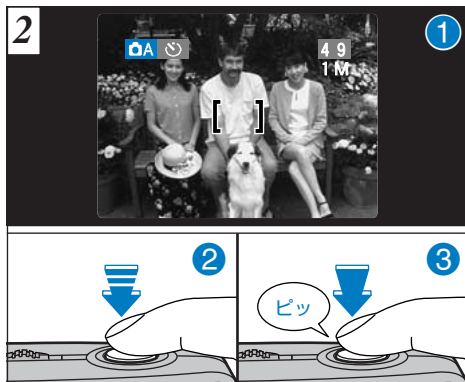
マクロ（近距離）

モードダイヤルを“🌷”に合わせると近距離撮影ができます。

●撮影可能距離：約10cm～約80cm
（ストロボ使用時は、約30cm～約80cmとなります）

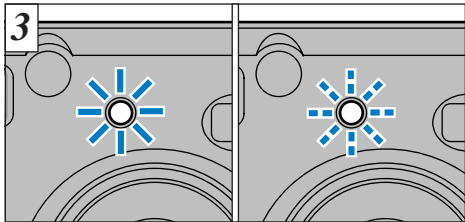
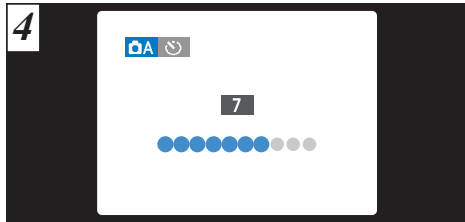
暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

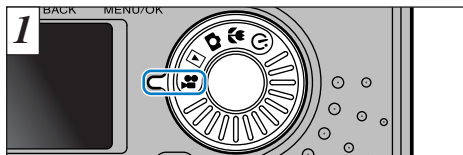
マクロ撮影ではカメラが次のように設定されます。
●レンズが広角側に固定され、デジタルズームのみ可能になります。
●液晶モニターが自動的にONになり、OFFにすることはできません。

⏲ セルフタイマー

モードダイヤルを "⏲" に合わせると、液晶モニターに "⏲" が表示されます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。撮影者自身を撮影する場合などに使用します。

❶AFフレームを被写体に合わせます。
❷シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
❸半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込むと(全押し)、セルフタイマーが開始されます。

❗AF/AEロック撮影も可能です(➡26ページ)。
❗レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ(露出)にならないことがあります。

3

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン表示されます。

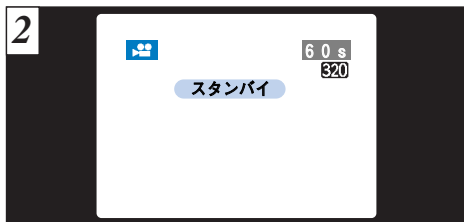
開始したセルフタイマー撮影は、“BACK”ボタンを押すと解除できます。

動画撮影

モードダイヤルを“🎥”に合わせます。

●撮影形式：Motion JPEG 形式（➡95ページ）
320（320×240ピクセル）、
160（160×120ピクセル）切り換え式
10フレーム/秒
音声なし

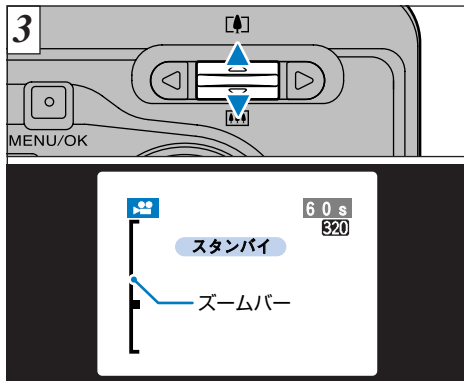
■1回の撮影で記録可能な秒数

機種＼ピクセル	320	160
FinePix A203	20秒	80秒
FinePix A303	60秒	240秒

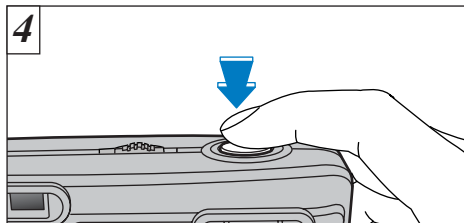
- xDピクチャーカードの空き容量によっては、一回の撮影時間が短くなることがあります。
- 液晶モニターをOFFにすることはできません。
- 本機以外のカメラでは再生できない場合があります。
- ピクセル（画像サイズ）設定の変更（➡48ページ）。

液晶モニターに撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

■xDピクチャーカード標準撮影可能時間

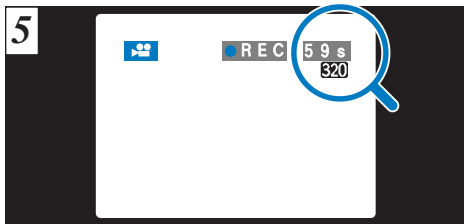
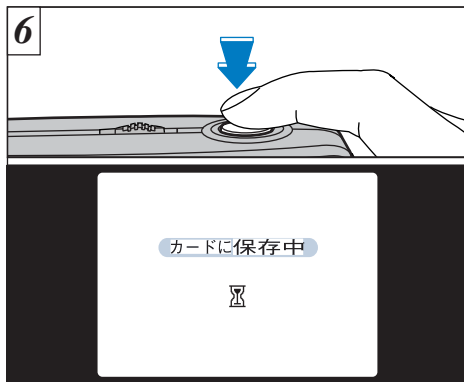
xDピクチャーカード容量	ピクセル 320	ピクセル 160
DPC-16（16MB）	94秒（1.5分）	300秒（5分）
DPC-32（32MB）	191秒（3.1分）	606秒（10.1分）
DPC-64（64MB）	384秒（6.4分）	1212秒（20.2分）
DPC-128（128MB）	774秒（12.9分）	2436秒（40.6分）

＊xDピクチャーカードをカメラでフォーマットした状態の撮影可能時間です。

動画撮影

動画撮影ではレンズが広角側に固定され、デジタルズームのみになります。“▲”か“▼”でズームできます。液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。デジタルズームの焦点距離と最大ズーム倍率は次のようになります。

機種	焦点距離（35mmカメラ換算）	最大ズーム倍率
FinePix A203	約38mm〜約 95mm	2.5倍
FinePix A303	約38mm〜約122mm	3.2倍

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

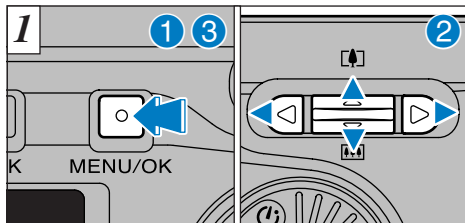
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- ピントは約80cm〜無限遠の固定になります。
- 撮影中はホワイトバランスは固定されますが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。
- 撮影前に液晶モニターで見る画像と動画記録中の液晶モニターの画像は、明るさや色などが異なる場合があります。

ホワイトバランスはシャッターボタンを押すと、自動的に設定されます。

撮影中は液晶モニターに“●REC”が表示され、右上に残り時間をカウントダウン表示します。

撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと撮影を終了し、xDピクチャーカードへ記録します。

3

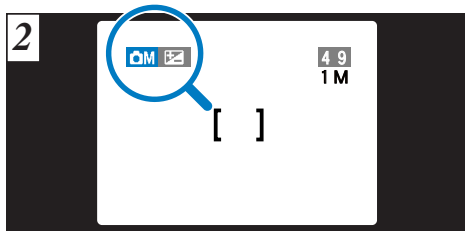
❗残り時間がなくなると自動的に撮影が終了し、xDピクチャーカードに記録されます。

❗撮影開始後すぐに終了しても、約1秒間だけxDピクチャーカードへ記録されます。

撮影メニューの基本操作

モードダイヤルを“ ”、“ ”、“ ”または“ ”に合わせます。

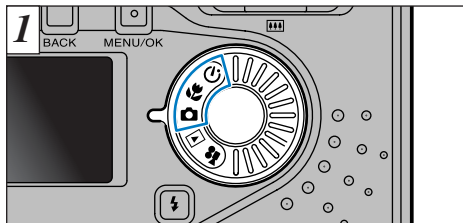
❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

❷“◀”か“▶”でメニューを選びます。“▲”か“▼”で設定を変更します。

❸“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

設定を有効にすると画面上部にアイコンが表示されます。
（マニュアル撮影でアカルサ（露出補正）を設定した場合の例）

撮影モードにより設定可能な撮影メニューは変わります。

📷Aオート/📷Mマニュアルの切り換え

モードダイヤルを“📷”、“🌷”または“⏱”に合わせます。

❶“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。
❷“◀”か“▶”で“SET各種設定”を選び、“▲”か“▼”で“📷Aオート”か“📷Mマニュアル”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

📷A オート

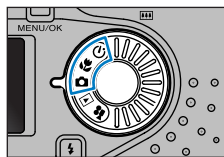
最も簡単に撮影できる撮影用途の広いモードです。

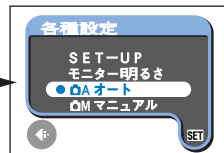
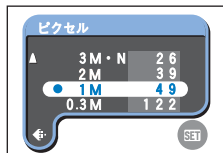
📷M マニュアル

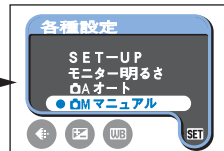
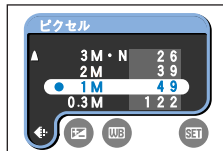
“アカルサ・ホワイトバランス”を設定できるモードです。

3

撮影メニュー一覧

静止画/マクロ/セルフタイマーモード

撮影モード“📷・🌷・⏲”で、“MENU/OK”ボタンを押すと、次のようなメニューが表示され、それぞれの設定が行えます。
各種設定で、“📷Mマニュアル”に切り換えると、“アカルサ”と“ホワイトバランス”を設定できます。

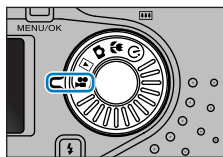
📷Aオート

各種設定で、オートとマニュアルを切り換えます。

📷Mマニュアル

＊ピクセルの図はFinePix A303のものです。

動画モード

撮影モード“🎥”で、“MENU/OK”ボタンを押すと、次のようなメニューが表示され、それぞれの設定が行えます。

ピクセル（記録画素数）

※メニューの表示方法（➡46ページ）

記録画素数の設定は“ピクセル”で行います。

■FinePix A203：静止画（、、）

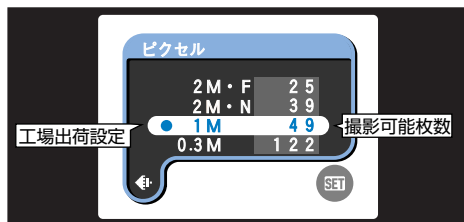
ピクセル	用途
2M・F（1600×1200）	プリント向け
2M・N（1600×1200）	↕
1M　（1280×960）	
0.3M　（640×480）	インターネット向け

■FinePix A303：静止画（、、）

ピクセル	用途
3M・F（2048×1536）	プリント向け
3M・N（2048×1536）	↕
2M　（1600×1200）	
1M　（1280×960）	
0.3M　（640×480）	インターネット向け

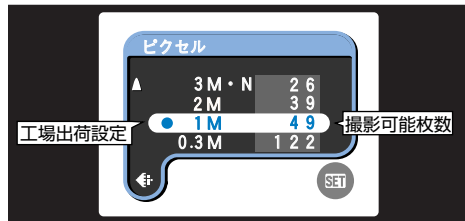
■FinePix A203/FinePix A303：動画（）

320（320×240）	—
160（160×120）	

FinePix A203：静止画（、、）

4種類の設定から選べます。
目的に応じた設定をしてください。

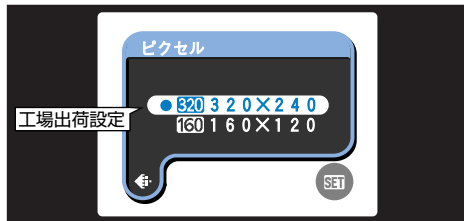
<設定例>

- A6（ハガキ）サイズ～A5サイズ程度にプリントする場合 → 2M・F、2M・N
  ＊画質を優先する場合は“F”（FINE）を、枚数を優先する場合は“N”（NORMAL）を選んでください。
  通常は“2M・N”で十分な画質が得られます。
- A7（ハガキの半分）サイズ～A6（ハガキ）サイズ程度にプリントする場合 → 1M
- 電子メールへの画像添付やホームページでの利用 → 0.3M

FinePix A303：静止画（📷、🌷、🕑）

5種類の設定から選べます。
目的に応じた設定をしてください。

<設定例>

- A4サイズ程度にプリントする場合
  → 3M・F、3M・N
  ＊画質を優先する場合は“F”（FINE）を、枚数を優先する場合は“N”（NORMAL）を選んでください。通常は“3M・N”で十分な画質が得られます。
- A6（ハガキ）サイズ〜A5サイズ程度にプリントする場合 → 2M
- A7（ハガキの半分）サイズ〜A6（ハガキ）サイズ程度にプリントする場合 → 1M
- 電子メールへの画像添付やホームページでの利用 → 0.3M

FinePix A203/FinePix A303：動画（🎥）

2種類の動画サイズを選べます。画質を優先する場合は、“320”を、撮影時間を長くする場合は“160”を選びます。

3

アカルサ（露出補正）

※A/Mの切り換え（➡45ページ）
メニューの表示方法（➡46ページ）

“M” の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

●補正範囲：13段階
（−2.1EV～＋1.5EV，約0.3EVステップ）
EVについては95ページをご参照ください。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正の目安

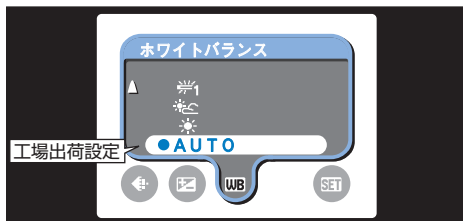
●白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写
：＋1.5EV
●逆光の人物撮影：＋0.6EV～＋1.5EV
●スキー場などの明るい背景や反射の強い場合：＋0.9EV
●液晶モニター内を空の部分が大きく占める場合：＋0.9EV

−（マイナス）補正の目安

●スポットライトを浴びた人物、特に背景が暗い場合：−0.6EV
●黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写
：−0.6EV
●常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：−0.6EV

次のような状態では、無効になります。
●オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
●強制発光で撮影シーンが暗いとき

WB ホワイトバランス(光源選択)

※A/Mの切り換え(➡45ページ)
メニューの表示方法(➡46ページ)

“M”の撮影モードで設定できます。

撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。

AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。

ホワイトバランスについては95ページをご参照ください。

AUTO：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）

☀：晴れた屋外での撮影

日陰マーク：日陰での撮影

蛍光灯1：昼光色蛍光灯下での撮影

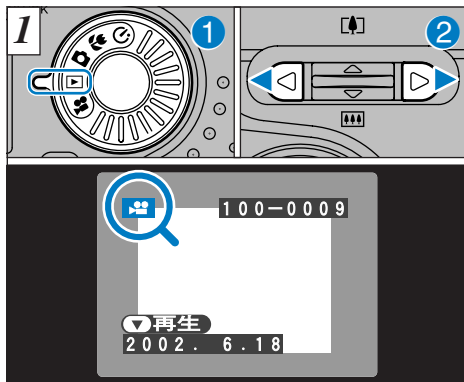
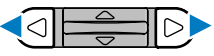
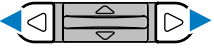
蛍光灯2：昼白色蛍光灯下での撮影

蛍光灯3：白色蛍光灯下での撮影

電球マーク：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止(➡32ページ)にしてください。

▶ 再生モード 動画再生

❶モードダイヤルを“▶”に合わせます。
❷“◀”か“▶”で動画ファイルを選びます。

❶“▼”を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

! マルチ再生では動画再生はできません。
“DISP”ボタンで通常再生にしてください。

“🎥”のアイコンで表示されます。

! 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

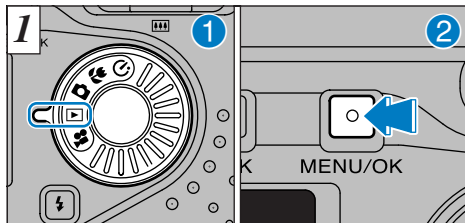
静止画に比べ、ひと回り小さく表示されます。

■動画再生操作方法

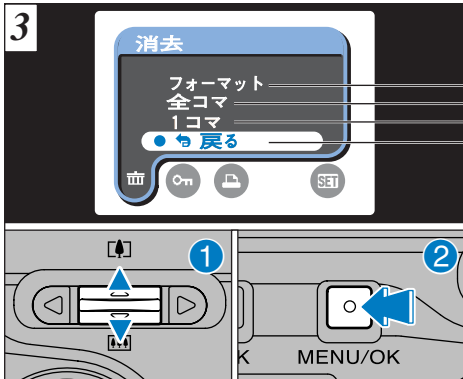
	操　作	説　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に“◀”か“▶”を押すと、次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると“▶”早送り/“◀”巻き戻しします。
コマ送り	一時停止中	●一時停止中に“◀”か“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。 ●押し続けるとコマ送りが速くなります。

◆動画ファイルの再生について◆

- ●本機以外で記録した動画ファイルは再生できない場合もあります。
- ●パソコンで再生する場合、xDピクチャーカード内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。
- ●動画ファイルはデータ量が大きく、ご使用になるパソコンの性能によっては画像処理が追いつかず、なめらかに再生されない場合があります。
- ●パソコンや本機以外で再生する場合、若干早めに再生される場合があります。

🗑 消去　1コマ・全コマ/フォーマット

❶モードダイヤルを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

“◀”か“▶”で“🗑”消去を選びます。

誤って画像を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

❶“▲”か“▼”で“1コマ”、“全コマ”または“フォーマット”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

フォーマット

すべての画像を消去します。
プロテクトされた画像もすべて消去しますので、フォーマットする場合は十分にご注意ください。消去したくない画像はハードディスクなどにコピーしてください。

全コマ

プロテクトされていないすべての画像を消去します。消去したくない重要な画像は、パソコンなどにコピーしてください。

1コマ

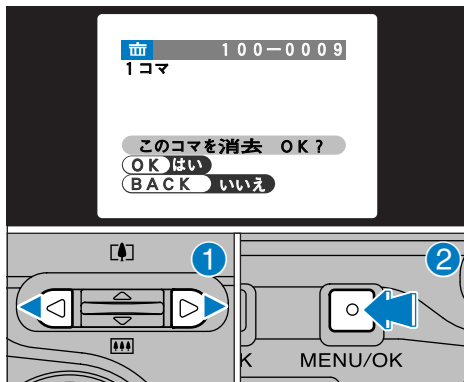
選んだ画像だけを消去します。

戻る

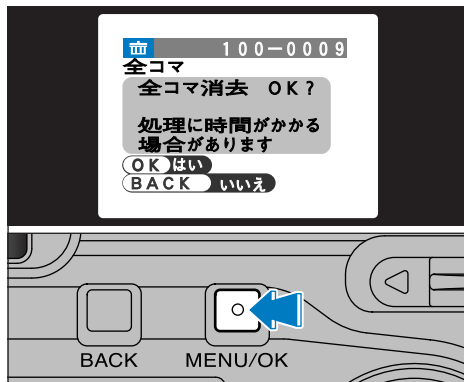
消去せずに再生に戻ります。

4

次ページにつづく

1コマ

❶“◀”か“▶”で消去する画像を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中の画像を消去します。
続けて消去するには❶❷を繰り返します。
消去を終えるには“BACK”ボタンを押します。

❗“プロテクトされています”が表示される画像は消去できません。プロテクトを解除してください。

全コマ

“MENU/OK”ボタンを押すとプロテクトされていないすべての画像を消去します。

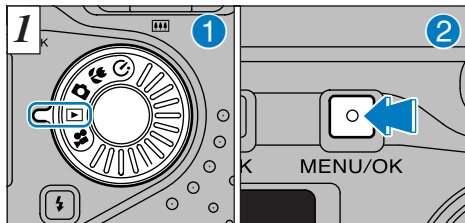
“プリント予約されています”が表示された場合、画像を消去するには“MENU/OK”ボタンをもう一度押します。

フォーマット

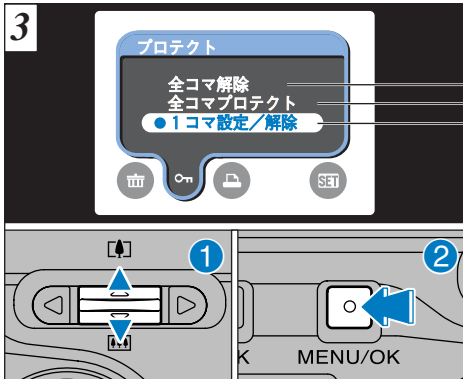
“MENU/OK” ボタンを押すとすべての画像が消去され、xDピクチャーカードが初期化されます。プロテクトされている画像も消去されます。

“カードエラー” “記録できませんでした” “再生できません” “フォーマットされていません” が表示された場合は、フォーマットする前に89、90ページを参照し、対処してください。

4

プロテクト　1コマ・全コマ

❶モードダイヤルを "▶" に合わせます。
❷"MENU/OK" ボタンを押してメニューを表示します。

"◀" か "▶" で "" プロテクトを選びます。

プロテクトとは、画像を誤って消去しないように設定することです。ただし "フォーマット" するとすべての画像が消去されます(➡57ページ)。

❶ "▲" か "▼" で "1コマ設定/解除"、"全コマプロテクト" または "全コマ解除" を選びます。
❷ "MENU/OK" ボタンを押して決定します。

全コマ解除

すべての画像のプロテクトを解除します。

全コマプロテクト

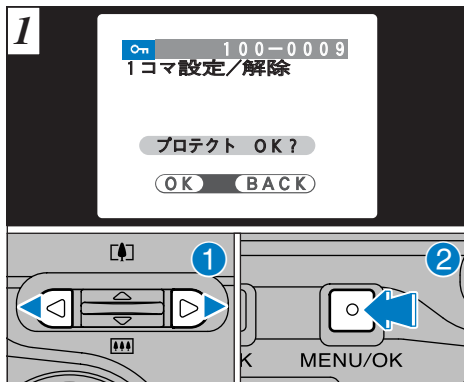
すべての画像をプロテクトします。

1コマ設定/解除

選んだ画像だけをプロテクトしたり、解除したりします。

4

次ページにつづく

1コマ設定/解除

❶“◀”か“▶”でプロテクトする画像を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中の画像をプロテクトします。
続けてプロテクトするには❶❷を繰り返します。
プロテクトを終えるには“BACK”ボタンを押します。

プロテクトを解除するには、もう一度“MENU/OK”ボタンを押します。

全コマプロテクト

“MENU/OK” ボタンを押すとすべての画像がプロテクトされます。

全コマ解除

“MENU/OK” ボタンを押すとすべての画像のプロテクトが解除されます。

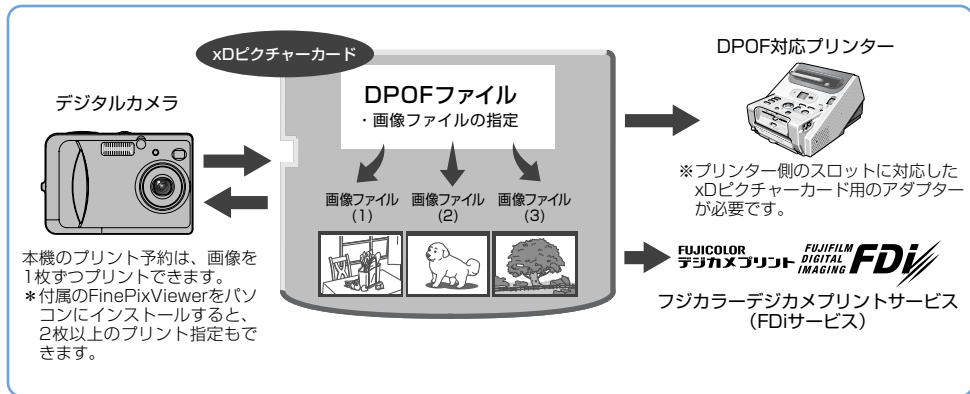
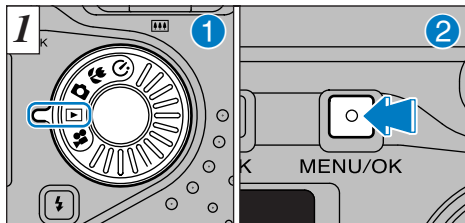
4

プリント予約について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をxDピクチャーカードなどに記録するときの形式です。

本機のプリント予約は、画像を1枚ずつプリントできます。
＊付属のFinePixViewerをパソコンにインストールすると、2枚以上のプリント指定もできます。

※プリンター側のスロットに対応したxDピクチャーカード用のアダプターが必要です。

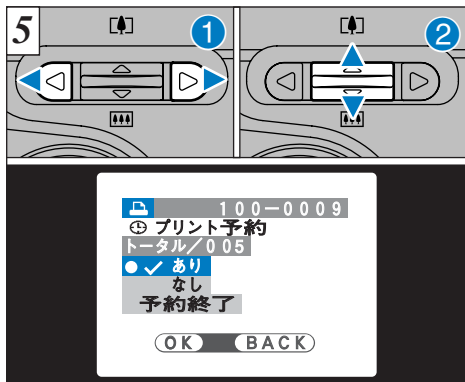
フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）

- DPOF対応デジタルカメラ(本機)では上記の情報をカメラの操作でxDピクチャーカードに記録することができます。
- DPOF情報を記録したxDピクチャーカードを、フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

プリント予約

❶モードダイヤルを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

“◀”か“▶”で“”プリント予約を選びます。

次ページにつづく

❶“▼”で“日付”を選びます。
❷“◀”か“▶”で“日付あり”か“日付なし”を選びます。
プリント予約するすべてのコマに有効です。

❶“▲”を押して“実行”を選択します。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

❶“◀”か“▶”で設定するコマを表示します。
❷プリントするコマに“▲”か“▼”で“あり”を設定し、“MENU/OK”ボタンまたは“▶”を押します。
続けて設定するには、❶❷を繰り返します。

動画はプリント予約できません。
“トータル”はプリント指定したコマ数の合計です。

設定が終了したら、必ず“予約終了”を選択して、“MENU/OK”ボタンを押します。
“BACK”ボタンを押すとプリント予約されません。

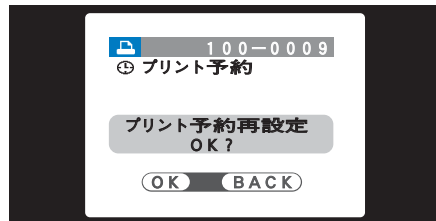
指定できるプリント枚数は1コマにつき1枚です。
また、同一xDピクチャーカード内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

4

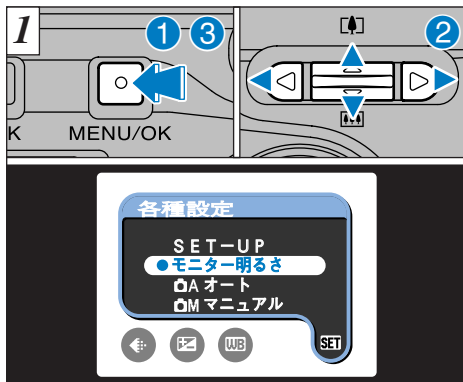
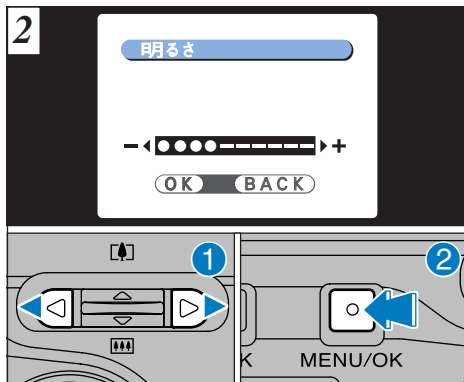
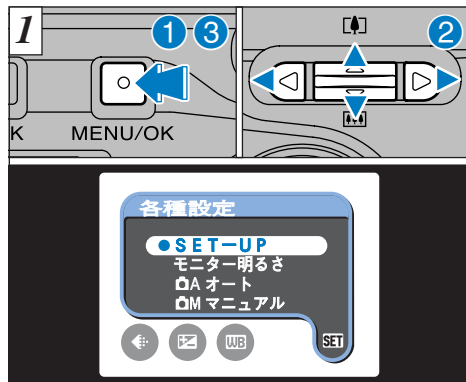
次ページにつづく

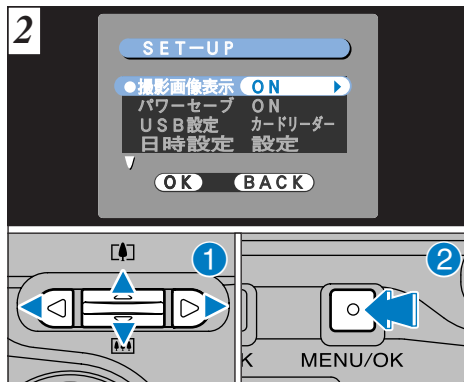
“MENU/OK” ボタンを押すとプリント予約設定が、決定されます。
“BACK” ボタンを押すと設定画面5に戻ります。

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてが決定されます。

◆プリント予約の追加修正はできません◆

すでにプリント予約されたコマがある場合は“プリント予約再設定 OK ?”と表示されます。
“MENU/OK” ボタンを押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

❗ “BACK” ボタンを押すと設定を変更しません。
❗ 前回の設定は再生時に“🖨”が表示され確認できます。

SET モニター明るさ調節

❶“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀” か “▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲” か “▼” で “モニター明るさ” を選びます。
❸“MENU/OK” ボタンを押します。

❶“◀” か “▶” で液晶モニターの明るさを調節します。
❷“MENU/OK” ボタンを押します。

設定を変更しない場合は“BACK”ボタンを押します。

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀”か“▶”で“SET”各種設定を選び、“▲”か“▼”で“SET−UP”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

❶“▲”か“▼”で項目を選び、“◀”か“▶”で設定を変更します。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

! “日時設定”“オールリセット”は“▶”を押します。

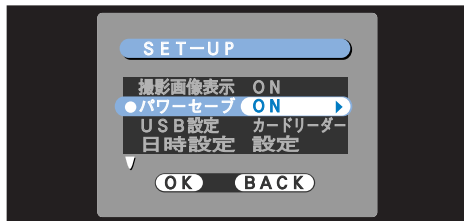
■各種設定一覧　各種設定のメニューはモードによって下表のようになります。

静止画モード	動画モード	再生モード
A オート M マニュアル モニター明るさ（➡67ページ） SET－UP	— — モニター明るさ（➡67ページ） SET－UP	— — モニター明るさ（➡67ページ） SET－UP

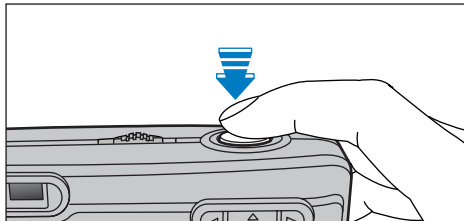
■SET－UPメニュー一覧（日時設定など）

項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
撮影画像確認	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。 撮影結果がしばらく表示され、自動的に記録されます。
パワーセーブ	ON/OFF	ON	約30秒間操作しないと、一時的に液晶モニターを消す機能です。詳しくは70ページ参照。
USB設定	カードリーダー/PCカメラ	カードリーダー	詳しくは72ページ参照。
日時設定	設定	－	日付、時刻を修正できます。詳しくは13ページ参照。
LCD	ON/OFF	ON	モードダイヤルを“ ”にしたときに、自動的に液晶モニターをONにするかOFFにするか設定できます。
ビープ ♪	LOW/HIGH/OFF	LOW	操作音の音量を設定できます。
オールリセット	実行	－	日時設定を除く、すべての設定（撮影、再生メニュー含む）を工場出荷設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、実行するには“MENU/OK”ボタンを押します。

5

SET パワーセーブ

●パワーセーブ "ON"(工場出荷時設定)
できるだけ消費電力を少なくし、電池の消耗を抑えます。アルカリ乾電池で使用するときはONにすることをおすすめします。

- ●約30秒間操作しないと一時的に液晶モニターを消し、消費電力を抑えます(スリープ)。(ファインダーランプ[緑]は点灯)
- ●スリープ後、約90秒間操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。(ファインダーランプ[緑]は消灯)
- ●ストロボの充電電力を抑えるため充電時間が多少長くなります。

●パワーセーブ "OFF"
スリープなどの電力を抑えることを行いませんので電池が消耗しやすくなります。ただし、約2分間操作しないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。

スリープしているときは、いずれかのボタンを押すことにより液晶モニターが点灯します。液晶モニターが消えた状態でもシャッターボタンを押せばそのまま撮影が可能です。

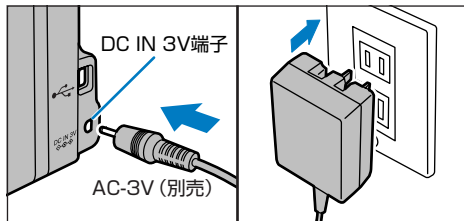
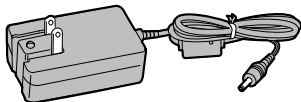
! シャッターボタンを半押しして離した場合、ストロボ充電のために画面が一瞬暗くなることがあります。

! USB接続時では、パワーセーブ、オートパワーオフは無効になります。

液晶モニターOFF、セットアップ、再生モードではスリープは機能しませんが、約2分間操作しないと自動的に電源が切れます。

別売のACパワーアダプターを使う

ACパワーアダプター（別売）

必ず、弊社製「ACパワーアダプター AC-3V」をお使いください（➡81ページ）。
パソコンへ撮影した画像等を転送するなど、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず撮影・再生することができます。

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 3V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

❗ACパワーアダプターについてのご注意は86ページをご参照ください。
❗ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。
カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、xDピクチャーカードの破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。

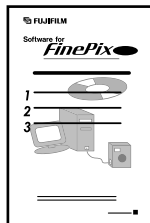
ACパワーアダプターを接続しても、ニッケル水素電池の充電はできません。ニッケル水素電池の充電には別売の充電器（➡81ページ）が必要です。

パソコンと接続する

USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。あわせて別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。ACパワーアダプター（別売）を使った接続をおすすめします。

カメラをパソコンに初めて接続する際は

接続する前に、ソフトウェアをすべてインストールしておく必要があります。
あわせてソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

CD-ROM
「Software for FinePix」　ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能について

xDピクチャーカードから簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます（➡74ページ）。

PCカメラ機能について

インターネット接続されたパソコンどうしでテレビ電話（“PictureHello”）が楽しめます。また動画をパソコンで記録できます（➡76ページ）。

テレビ電話（“PictureHello”）はMacintoshに対応していません。

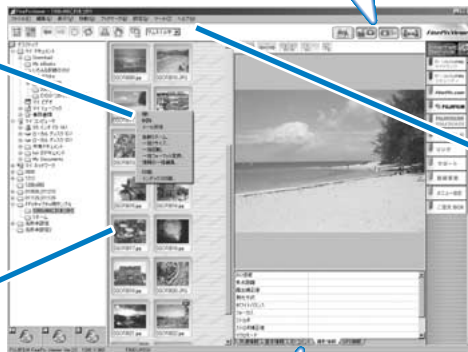
自動取り込み　スライドショー　テレビ電話

一括処理などの便利なメニューがたくさんあります。

詳しい使い方を調べることができます。このメニューを実行するには、AcrobatReaderが必要です。

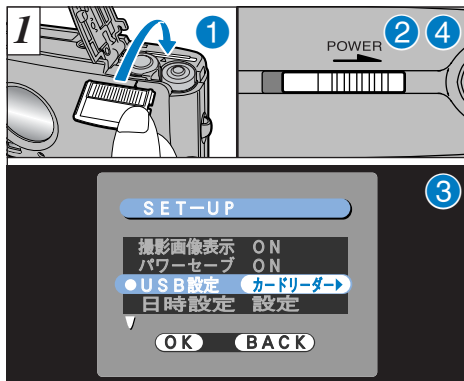
ヘルプ(H)
FinePixViewerの使い方(F)
簡単ガイド／オンラインQ&A(G)
ソフトウェアアップデート(U)
バージョン情報(A)

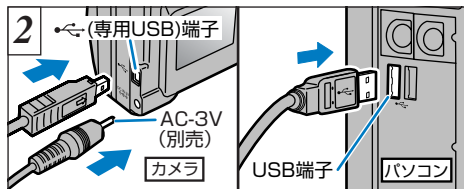
最新のFinePixViewerを手に入れることができます。

細部の確認や、簡単な加工（回転、文字合成、トリミングなど）ができます。

共通情報　基本情報　ID･コメント　撮影情報

撮影条件などを調べたり、比較を行ったりできます。

6

カードリーダー接続方法

❶撮影したxDピクチャーカードをカメラにセットします。
❷“POWER”スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❸SET―UPの“USB設定”を“カードリーダー”にします（➡68、69ページ）。
❹“POWER”スイッチをスライドさせ、電源を切ります。

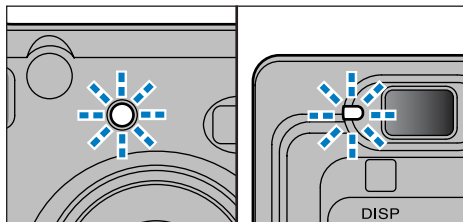
ACパワーアダプターAC-3V（別売）を使った接続をおすすめします（➡71ページ）。ファイル通信中に電源が切れると、正常なファイルの転送ができません。

❶パソコンの電源を入れます。
❷専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
❸カメラの電源を入れます。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください（➡78ページ）。

Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です（➡別冊のソフトウェア取扱ガイド）。

専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

● カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
● 液晶モニターには “カードリーダー” と表示されます。
● USB接続時はパワーセーブ/オートパワーオフしません。

xDピクチャーカードの交換は、必ず78ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、78ページをご参照ください。

パソコンの動作

● FinePixViewerが自動的に起動します。

＊Windows 98 SEの画面です。

● リムーバブルアイコンが表示され、パソコンでファイルの読み出し、書き込みができます。

Windows

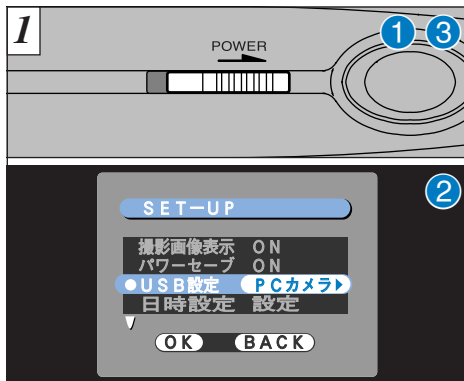
リムーバブル ディスク

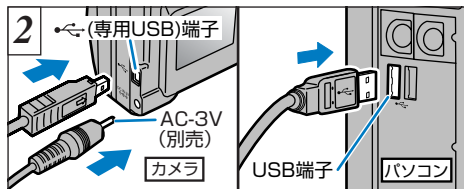
Macintosh

名称未設定

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

6

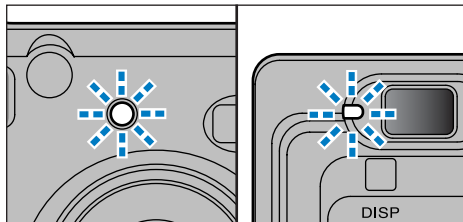
PCカメラ接続方法

❶“POWER”スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❷SET−UPの“USB設定”を“PCカメラ”にします(➡68、69ページ)。
❸“POWER”スイッチをスライドさせ、電源を切ります。

ACパワーアダプターAC-3V(別売)を使った接続をおすすめします(➡71ページ)。ファイル通信中に電源が切れると、正常なファイルの転送ができません。

❶パソコンの電源を入れます。
❷専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
❸カメラの電源を入れます。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡78ページ)。

専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- レンズが広角側に固定されます。
- 液晶モニターには“PCカメラ”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブ/オートパワーオフしません。

! 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、78ページをご参照ください。

! PCカメラで使用する場合、蛍光灯スタンドなどで被写体を照明するとより明るく撮影することができます。

! PCカメラとしてパソコンに接続したとき、液晶モニターの色味が変わります。

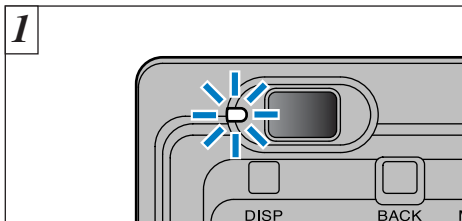
パソコンの動作

- FinePixViewerが自動的に起動し、Picture Helloが開きます（Windowsのみ）。

＊Windows 98 SEの画面です。

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）

1

❶カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewerなど）をすべて終了します。
❷ファインダーランプが緑色に点灯、またはセルフタイマーランプが消灯している（パソコンと通信していない）ことを確認します。

カードリーダー接続の場合は、2に進みます。
PCカメラ接続の場合は、3に進みます。

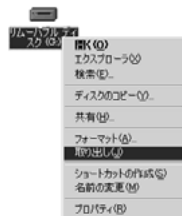
❗パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯、またはセルフタイマーランプが消灯していることを確認してください。

2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

Windows 98/98 SE

パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

❶マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。この操作はWindows Meのみ必要です。

❷タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックします。

＊Windows Meの画面です。

❸下図のメニューが表示されますので、メニュー上をクリックします。

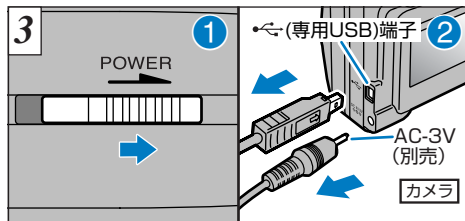
USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

＊Windows Meの画面です。

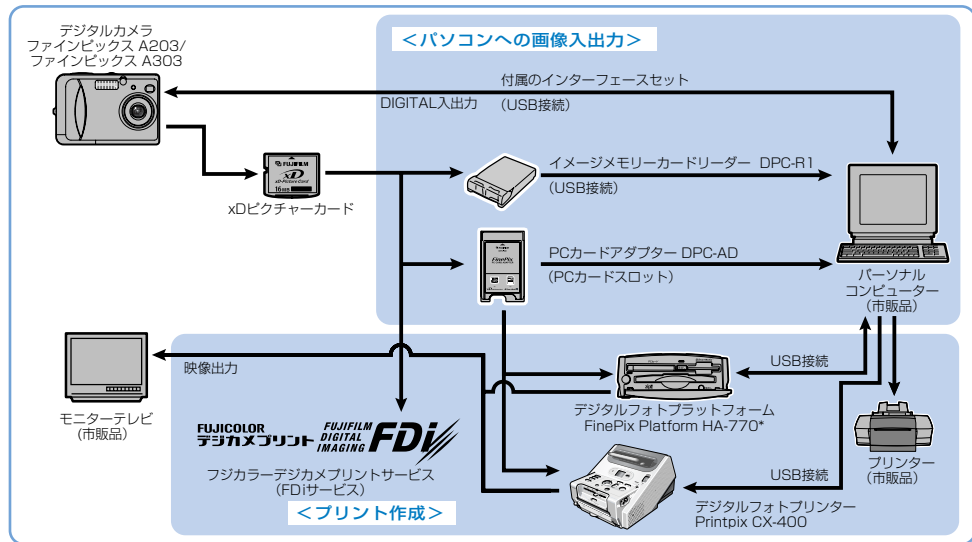
❹“ハードウェアの取り外し”ダイアログが表示されますので、“OK”ボタンかクローズボタンをクリックしてください。

Macintosh

デスクトップの“リムーバブルドライブ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

❗ゴミ箱にドラッグ&ドロップすると、カメラの液晶モニターに“REMOVE OK”と表示されます。

❶カメラの電源を切ります。
❷カメラから専用USBケーブルを取り外します。

システムアップ機器（別売）（平成14年9月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊HA-770ではFinePix A203/FinePix A303の画像データに対してプリント予約することはできません。
＊デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様に、プリント取り扱い店でプリントできます。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成14年9月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

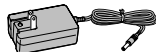
※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。 http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

●イメージメモリーカード（xDピクチャーカード）

以下の種類がお使いいただけます。
- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）

※すべてオープン価格

●ACパワーアダプター AC-3V

長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。

※4,000円

●単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」（HR-AA）

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
2本パック「型名 HR-AA/2B」をお買い求めください。

※2本セット HR-AA/2B 1,100円

●ニッケル水素/ニカド急速充電器80（FNH）

ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」2本を約90分間で充電できます。
同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（日本国内使用専用）。

※4,500円

●ニッケル水素/ニカド急速充電器ワールドタイプスリム（FNW）

ニッケル水素電池「ニッケル水素1700」2本を約115分で充電できます。
同時に4本までのニッケル水素/ニカド電池の充電が可能です（AC100V～240V、50/60Hz対応）。

※4,500円

●ソフトケース SC-FXA01

ポリエステル製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

※2,000円

その他 別売アクセサリーの紹介

●イメージメモリーカードリーダー DPC-R1

イメージメモリーカード（xDピクチャーカード、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。
- ●Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- ●iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5））

※オープン価格

●PCカードアダプター DPC-AD

xDピクチャーカードあるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。
- ●Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- ●Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

●デジタルフォトプラットフォーム HA-770

スマートメディア、PCカード、Zip 3スロット装備し、デジタルカメラ画像のアルバム編集、再生機能搭載。パソコン*、テレビ、プリンターに対応したマルチインターフェース。xDピクチャーカードを使用するには、PCカードアダプター DPC-ADが必要です。

＊パソコン接続はUSBインターフェース(対応OS：Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional、Mac OS 8.5.1～9.1）

※49,800円

●コンパクトフラッシュ™カードアダプター DPC-CF

xDピクチャーカードを挿入するとコンパクトフラッシュ™カード（TYPE Ⅰ）として使用できます。
- ●Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- ●Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

パソコンで動画再生をするには、QuickTime3.0以降のソフトウェアまたはDirectX8.0ランタイム（Windowsの場合）が必要です。また、動画ファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水・浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺・水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、xDピクチャーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはxDピクチャーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池、xDピクチャーカードを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池、単3形リチウム電池や単3形ニカド電池は、使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命（使用時間）の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ 万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

⚠ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■電池の破棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池（ニッケル水素電池）についてのご注意

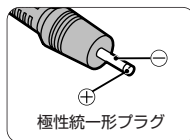
- 単3形ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ニッケル水素電池は、出荷時には充電されていません。ご使用の前に必ず充電してください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自己放電しています。ご使用の前に必ず充電してください。また、正常に充電したにもかかわらず、使用できる時間が著しく短くなったときは、電池の寿命です。新しいものをお買い求めください。
- ニッケル水素電池の電極に、皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。この場合は、電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃後、一度使い切ってから充電してください。
- お買上げ時や長い間使用していなかった電池は、十分に充電されないこと（電池残量警告がすぐに表示されて、撮影可能枚数が少ない場合）があります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。充電して使用することを3～4回繰り返すと正常な状態に戻ります。
- ニッケル水素電池の容量が残っている状態で充電を繰り返すと、「メモリー効果*」が発生して早めに電池残量警告が出ることがあります。最後まで使い切ってから充電することで正常な状態に戻ります。

  ＊メモリー効果：電池の容量が見かけ上劣化したような特性を示す現象

■小形充電式電池のリサイクルについて

このマークは小形充電式電池（ニッケル水素電池など）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用のACパワーアダプターAC-3V（別売、JEITA規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。
弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。

- 室内専用です。
- カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

xDピクチャーカードについてのご注意

■xDピクチャーカードについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card（xDピクチャーカード）です。xDピクチャーカードの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。
xDピクチャーカード個々にはID（番号）が割り振られています。IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。

■ファイル保持について

以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がxDピクチャーカードの使いかたを誤ったとき
＊カメラやパソコンなどからxDピクチャーカードへアクセス中（データ通信中など）にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
＊その他、誤った使いかたをしたとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- xDピクチャーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- xDピクチャーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- xDピクチャーカードの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にxDピクチャーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。xDピクチャーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のxDピクチャーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- xDピクチャーカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。

xDピクチャーカードについてのご注意

●高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
●xDピクチャーカードの接触面（コンタクトエリア）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
●保管や持ち運びする場合は専用のケースに入れることをおすすめします。
●静電気を帯びたxDピクチャーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
●長時間お使いになったあと、取り出したxDピクチャーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
●xDピクチャーカードには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
●xDピクチャーカードにはラベル類は一切はらないでください。xDピクチャーカードの出し入れの際、故障の原因になります。
●万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいxDピクチャーカードとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■xDピクチャーカードをパソコンで使用する場合のご注意

●パソコンで使用したあとのxDピクチャーカードを使って撮影する場合、xDピクチャーカードのフォーマットはカメラで行ってください。
●xDピクチャーカードをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
●パソコンでxDピクチャーカードのフォルダ名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。xDピクチャーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
●xDピクチャーカード上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
●画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。
●カメラで使用するファイル以外のコピーはしないでください。

主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card（xDピクチャーカード）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　置
(赤点灯) (赤点滅)	カメラの電池の容量が減っている、または少ない。	新しい電池を準備するか、交換してください。
カードがありません	xDピクチャーカードが入っていない。	xDピクチャーカードをセットしてください。
フォーマットされていません	●xDピクチャーカードがフォーマット(初期化)されていない。 ●xDピクチャーカードの接触面(金色の部分)が汚れている。 ●カメラが故障している。	●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はxDピクチャーカードを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードエラー	●xDピクチャーカードの接触面(金色の部分)が汚れている。 ●xDピクチャーカードが壊れている。 ●xDピクチャーカードのフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はxDピクチャーカードを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	xDピクチャーカードに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるxDピクチャーカードを使用してください。

警告表示

警告表示	警告内容	処　置
再生できません	●正常に記録されていないファイルを再生した。 ●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●本機以外で記録した動画ファイルを再生しようとした。	●再生することはできません。 ●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。 ●パソコンかそれを記録したカメラで再生してください。
コマNO．の上限です	コマNo.が999—9999に達している。	フォーマットしたxDピクチャーカードに撮影してください。
記録できませんでした	●xDピクチャーカードと本体の接触異常またはxDピクチャーカードの異常のため記録できない。 ●撮影した画像がxDピクチャーカードの空き容量を超えているので記録できない。	●xDピクチャーカードを入れ直すか電源のON/OFFを行ってください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●新しいxDピクチャーカードを使用してください。
! （手ブレマーク）	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影する。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
プロテクトされています	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。
! AE	AE連動範囲外です。	撮影できますが、適正露出ではありません。

警告表示	警告内容	処　　置
! AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	●暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ●AFロック撮影をしてください。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一xDピクチャーカード内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。
フォーカスエラー ズームエラー レンズカバーが開いていません	カメラが誤作動または故障している。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●電池を交換してください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源が途中で切れる。	●電池が消耗している。	●電池を交換してください。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しい電池と交換してください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●xDピクチャーカードが入っていない。 ●xDピクチャーカードに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●xDピクチャーカードがフォーマットされていない。 ●xDピクチャーカードの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●xDピクチャーカードが壊れている。 ●操作をやめてから2分間経過し、電源が切れた。 ●電池が消耗している。	●xDピクチャーカードを入れてください。 ●新しいxDピクチャーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。 ●xDピクチャーカードをフォーマットしてください。 ●xDピクチャーカードの接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しいxDピクチャーカードを入れてください。 ●電源を入れてください。 ●新しい電池と交換してください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
ストロボ撮影ができない。	●ストロボ発光禁止になっている。 ●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●電池が消耗している。	●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にしてください。 ●充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ●電池を交換してください。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボ/ストロボ調光センサーに指が掛かっている。	●被写体に近づいてください。 ●カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●暗い被写体を撮影した。	●レンズを清掃してください。 ●被写体から2m程度離れて撮影してください。
画像に点状のノイズがある。	●気温が高い環境でスローシャッター(長時間露光)撮影した。	●CCDの特性によるもので故障ではありません。
xDピクチャーカードのフォーマットができない。	●xDピクチャーカードの接触面(金色の部分)が汚れている。	●xDピクチャーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。	●コマがプロテクトされている。	●プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。
1コマ消去でコマが消せない。		

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
カメラのモードダイヤルを操作しても作動しない。	● カメラの誤作動。 ● 電池が消耗している。	● 電池・ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。 ● 新しい電池と交換してください。
PC（パソコン）接続で、カメラの液晶モニターに撮影画面が表示される。	● PCまたはカメラに専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ● PCの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● PCの電源を入れてください。
カメラが正常に動作しなくなった。	● カメラが予期しない状態になっている。	● 電池をいったん取り出して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

用語の解説

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。

JPEG（ジェイペグ）：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率は選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows　：MediaPlayer　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

主な仕様(FinePix A203)

システム

- **型式**：デジタルカメラ
- **有効画素数**：約200万画素
- **記録メディア**：xDピクチャーカード
- **記録方式**
  静止画：DCF準拠(Exif Ver.2.2 JPEG準拠)/ DPOF対応
  動　画：DCF準拠(AVI形式 Motion JPEG)
- **記録画素数(ピクセル)**
  1600×1200/1280×960/640×480
- **撮像素子**：1/2.7型(総画素数：211万画素)
- **撮像感度**：ISO 100相当
- **レンズ**：フジノン光学式3倍ズームレンズ
- **焦点距離**：f=5.7〜17.1mm
  (35mmカメラ換算：38mm〜114mm相当)
- **ファインダー**：実像式光学ファインダー　視野率 約80%
- **露出制御**：TTL64分割測光、プログラムAE、マニュアル撮影モード時露出補正可能
- **ホワイトバランス**
  オート(マニュアル時：7ポジション選択可能)
- **撮影可能範囲**
  標　準：約60cm〜無限遠
  マクロ：約10cm〜約80cm
- **シャッター**
  可変速　1/2秒〜1/2000秒(メカニカルシャッター併用)
- **絞り**：F2.8〜4.8/F7.0〜11.6 自動切り換え
- **セルフタイマー**：タイマー時間　約10秒
- **消去方式**：1コマ消去･全コマ消去･フォーマット(初期化)
- **液晶モニター**：1.5型　6万画素　TFT

- xDピクチャーカード標準撮影枚数/標準記録時間
  撮影枚数/記録時間は被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数/記録時間はxDピクチャーカードの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	2M・F	2M・N	1M	0.3M	320(動画)	160(動画)
記録画素数	1600×1200(約192万)		1280×960(約123万)	640×480(約31万)	320×240	160×120
画像1枚のファイルサイズ	約620KB	約390KB	約320KB	約130KB	—	—
DPC-16(16MB)	25	39	49	122	94秒(1.5分)	300秒(5分)
DPC-32(32MB)	50	79	99	247	191秒(3.1分)	606秒(10.1分)
DPC-64(64MB)	101	159	198	497	384秒(6.4分)	1212秒(20.2分)
DPC-128(128MB)	204	319	398	997	774秒(12.9分)	2436秒(40.6分)

●ストロボ：調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離　広角側：約0.3m〜約3.5m
　　　　　　　望遠側：約0.6m〜約3.0m
発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/
　　　　　　スローシンクロ

入・出力端子

●DC IN 3V入力端子
専用ACパワーアダプター AC-3V（別売）接続
● (専用USB）端子：パソコンへのファイル転送

電源部、その他

●電源
単3形アルカリ乾電池 2本使用
単3形ニッケル水素電池 2本使用（別売）
専用ACパワーアダプター AC-3V使用（別売）

●電池作動可能枚数（充電式電池はフル充電した場合）

電池の種類	液晶モニターON状態	液晶モニターOFF状態
アルカリ乾電池 LR6	約200枚	約300枚
ニッケル水素電池 HR-AA ニッケル水素1700	約300枚	約400枚

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数の目安です。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。低温時では作動可能枚数/時間が少なくなります。

●使用条件
温度0℃〜+40℃　湿度80%以下（結露しないこと）

●本体外形寸法
97.0mm×63.9mm×34.3mm（幅/高さ/奥行き）
（突起部含まず）

●本体質量
約145g（電池、xDピクチャーカード含まず）

●撮影時質量
約200g（電池、xDピクチャーカード含む）

●付属品
5ページをご参照ください。

●別売アクセサリー
81、82ページをご参照ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により、撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

主な仕様(FinePix A303)

システム

- **型式**:デジタルカメラ
- **有効画素数**:約324万画素
- **記録メディア**:xDピクチャーカード
- **記録方式**
  静止画:DCF準拠(Exif Ver.2.2 JPEG準拠)/ DPOF対応
  動　画:DCF準拠(AVI形式 Motion JPEG)
- **記録画素数(ピクセル)**
  2048×1536/1600×1200/1280×960/640×480
- **撮像素子**:1/2.7型(総画素数:334万画素)
- **撮像感度**:ISO 100相当
- **レンズ**:フジノン光学式3倍ズームレンズ
- **焦点距離**:f=5.7〜17.1mm
  (35mmカメラ換算:38mm〜114mm相当)
- **ファインダー**:実像式光学ファインダー　視野率 約80%
- **露出制御**:TTL64分割測光、プログラムAE、マニュアル撮影モード時露出補正可能
- **ホワイトバランス**
  オート(マニュアル時:7ポジション選択可能)
- **撮影可能範囲**
  標　準:約60cm〜無限遠
  マクロ:約10cm〜約80cm
- **シャッター**
  可変速　1/2秒〜1/2000秒(メカニカルシャッター併用)
- **絞り**:F2.8〜4.8/F7.0〜11.6 自動切り換え
- **セルフタイマー**:タイマー時間　約10秒
- **消去方式**:1コマ消去･全コマ消去･フォーマット(初期化)
- **液晶モニター**:1.5型　6万画素　TFT

- **xDピクチャーカード標準撮影枚数/標準記録時間**
  撮影枚数/記録時間は被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数/記録時間はxDピクチャーカードの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	3M・F	3M・N	2M	1M	0.3M	320(動画)	160(動画)
記録画素数	2048×1536(約315万)		1600×1200(約192万)	1280×960(約123万)	640×480(約31万)	320×240	160×120
画像1枚のファイルサイズ	約1300KB	約590KB	約390KB	約320KB	約130KB	—	—
DPC-16(16MB)	12	26	39	49	122	94秒(1.5分)	300秒(5分)
DPC-32(32MB)	25	53	79	99	247	191秒(3.1分)	606秒(10.1分)
DPC-64(64MB)	50	107	159	198	497	384秒(6.4分)	1212秒(20.2分)
DPC-128(128MB)	102	215	319	398	997	774秒(12.9分)	2436秒(40.6分)

●ストロボ：調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離　広角側：約0.3m～約3.5m
　　　　　　　望遠側：約0.6m～約3.0m
発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/
　　　　　　スローシンクロ

入・出力端子

●DC IN 3V入力端子
専用ACパワーアダプター AC-3V（別売）接続
● ⭠(専用USB)端子：パソコンへのファイル転送

電源部、その他

●電源
単3形アルカリ乾電池 2本使用
単3形ニッケル水素電池 2本使用（別売）
専用ACパワーアダプター AC-3V使用（別売）

●電池作動可能枚数（充電式電池はフル充電した場合）

電池の種類	液晶モニターON状態	液晶モニターOFF状態
アルカリ乾電池 LR6	約150枚	約200枚
ニッケル水素電池 HR-AA ニッケル水素1700	約200枚	約300枚

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数の目安です。ただし、カメラの使用環境温度や電池充電量のバラツキによる変動はあります。低温時では作動可能枚数/時間が少なくなります。

●使用条件
温度0℃～+40℃　湿度80%以下（結露しないこと）

●本体外形寸法
97.0mm×63.9mm×34.3mm（幅/高さ/奥行き）
（突起部含まず）

●本体質量
約145g（電池、xDピクチャーカード含まず）

●撮影時質量
約200g（電池、xDピクチャーカード含む）

●付属品
5ページをご参照ください。

●別売アクセサリー
81、82ページをご参照ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により、撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

アフターサービスについて

保証書

●保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
●保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社DIサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただく
②弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく（送付修理）
④お買上げ店にお持ちいただく
なお、集配ルートの都合上、④の方法よりは、①もしくは②、③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①の場合のサービス料金、②④の場合の交通費、③の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

●保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
●修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、次ページ「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
●修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
●修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。なお、お見積もりは有料となります。
●落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただいた場合
修理完了品は、代金引換となりますので、サービス料金とともに、運送業者に直接現金でお支払いください。
②弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合(持込修理)
修理完了品お引き取り時、窓口でお支払いください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合（送付修理）
修理完了品は、代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
④お買上げ店にお持ちいただいた場合
お持ちいただいたお店にご確認ください。

FinePix A203/FinePix A303 修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速・適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック(✓)を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクス番号	
ご住所	〒　　―		
ボディ番号(機番) 保証書あるいは本体底面に記載してある8けたの番号です。修理お問い合わせ時にご連絡ください。	No.		

修理品への添付

□ 保証書　□xDピクチャーカード（　　MB）　□電池
□(　　)　□(　　)
□(　　)　□(　　)

故障内容（故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください。）

お見積もり	□必要(修理金額　　円以上見積もり)　□不要
お見積もり連絡方法	□電話　□ファクス

※本紙はコピーしてお使いください。200%に拡大すると、約A4サイズになります。

■修理の受付は…

修理品の「FinePixクイックリペアサービス」・「送付修理」・「持込修理」の申し込み方法、受付場所を記載します。
下記に記載する修理サービスにおける修理品お預かり期間は、お買上げ店へお持ちいただく場合よりも、はるかに短くなります。

●【FinePixクイックリペアサービス】：お預かりからお届けまでが最短3日の修理サービスです。

・「お預かり」-「梱包」-「修理」-「お届け」までをワンパックにしたサービスです。
・当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了後にご自宅までお届けします。
・全国一律のサービス料金（保証期間内外を問わずお客様にご負担いただきます。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です）。
・料金の支払いは、修理品お届け時に、当社指定宅配業者に直接現金でお支払いください。
・サービスの申し込みは、インターネット・電話・ファクスのいずれかの方法から選択してください。

＊インターネット：http://www.fujifilm.co.jp/qa.html　＊専用電話：03-3436-2224　＊専用ファクス：03-3431-3470

※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/repair.html）をご覧ください。

●【送付修理】：サービスステーションに直接ご送付いただく場合

・下記の7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
・東京もしくは大阪のサービスステーションにお送りいただいた場合のみ、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）で修理完了予定日を検索することができます。

東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【持込修理】：サービスステーションにお持ちいただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40
・サービスステーションは、土・日・祝日・年末年始は休業させていただきます。その他夏期など休業させていただく場合があります。
・有償修理の場合の修理料金は、修理品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。
・東京もしくは大阪のサービスステーションにお持ちいただいた場合のみ、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）で修理完了予定日を検索することができます。
・本書に地図の記載がないサービスステーションは、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/qa.html）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）をご覧ください。
・東京、大阪のフォトサロンは、上記7カ所のサービスステーションに加えて、修理品の受渡し業務のみを行っております。ただし、修理は行っておりませんので、お急ぎのお客様は上記7カ所のサービスステーションにお持ちください。

東　京：富士フォトサロン	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
大　阪：富士フォトサロン	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～12：00　午後1：00～4：00
✻土曜日は修理品の受渡し業務のみ行っております。

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915
【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL（052）202-1851
【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40

富士写真フイルム株式会社

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

●修理の受付は…

本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

この用紙は、再生紙
を使用しています。

FGS-204109-FG